

### 1. 救いは神様のため

ユダヤ人が何度も神様から離れ同じ罪をくりかえしたために、外国のバビロン帝国に神殿が打ち壊されました。周辺諸国は「イスラエルの神は自分の民を従わせ、神殿を守ることもできなかった。」とあざけりました。

そこで神様はバビロンからの回復について「私はお前たちのためではなく、お前たちが行った先の国で汚したわが聖なる名のためにこれを行う。私はお前たちが国々で汚したため、彼らの間で汚されたわが大いなる名を聖なるものとする。22.23 節」と仰いました。

もし、人間のためだけに回復があるなら、その人間はまた神様を汚す罪を犯します。本当の回復は、人間より確かなところから始めなければなりません。そこで神様は最も確かな、ご自身のところから回復すると言うのです。私たちの罪がどんなに深くとも、何度繰り返そうとも、神様は決して汚れることのない確かな方です。人間の罪を引き受けても、ご自身のお名前を聖なるものと回復できる方です。その神様が私たちを神の民としてくださるなら、私たちは聖い者とされるのです。

### 2. 石の心を取り除き、肉の心を与える

神様が私たちを汚れから救う様は、26.27 節に書かれています。「私はお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。私はお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。また、私の霊をお前たちの中に置き、私の掟に従って歩ませ、私の裁きを守り行わせる。」

私たちにもとからある石の心は固い心なので、自分で立とうとします。石の心は鋭くとがって自分を切り刻み、相手を攻撃します。自分の律法で自分の裁きを行う心です。

神様がくださる肉の心は生きている柔らかい心です。自分で立つことはできませんが、神様の霊を受け取ることができます。自分の律法ではなく、神様の掟と裁きにより頼んでいます。

この新しい心を与えるのは神様の霊、すなわち聖霊です。

### 3. 命の水

聖霊は新しい心に与えられる。新しい心は聖霊によって与えられる。この良いサイクルを始めるためには、人間の墮落のサイクルを断ち切らなければなりません。それは 25 節に書かれています。「私が清い水をお前たちの上に振りかける時、お前たちは清められる。」

イスラエルを旅行した時、塩分濃度が高い死海の周りは、魚はおろか藻やプランクトンもない、死の光景でした。その中で、塩分を含まない清い水の流れだけは藪に覆われ、流れの中に勢いよく魚が泳いでいました。命を持っていたのです。

この様に人間がどんなに死に支配されても、神様は清い命の水を持っておられ、それを私たちに与えてくださいます。それは私たちの主イエス・キリストです。イエス様は「私は命の水だ」と仰いました。

イエス様は人間の罪を背負いきり、石の心を引き取って、人間の裁きによって切り刻まれました。命の命である方が死と死の汚れを受けられたのです。十字架で命の水である血潮を流しつくされました。しかしそれで終わりませんでした。イエス様はどんなに汚されても汚れることのない神様です。汚されたお名前を回復し聖なるものとすることができます。そうです、イエス様は復活なさいました。こうして人間の罪と死のサイクルを断ち切り命のサイクルを始めて下さいました。そこに、約束の聖霊が与えられ、私たちに肉の心が与えられました。

私たちではなくイエス様の復活から始まる回復だからこそ、希望があります。

## 結び み名を崇めさせ給え

今日ここに、何度も同じ罪を繰り返すことに悩んでいる人はいませんか。こんなに性懲りもなく罪を犯す私を、神様が救う必要なんてないじゃないか。いつか見放されないだろうかと不安になり、必死に反省して心に誓ったのに結局失敗に終わって失望する。そんなことを繰り返していませんか。

罪に敏感になる、それは柔らかく傷つきやすい肉の心を与えられている証拠です。私のための私の救いを求めても、自分が清くなっていく自覚など生まれるはずありません。

救いはまず神様の聖いお名前があがめられるためにあります。ですから今日も私たちの救いのために祈るのです。「み名を崇めさせ給え」

## 祈り

天のお父様。私たちの罪のゆえに、あなたのお名前を汚しています。この自分を情けなく嫌悪します。しかしあなたはご自身のお名前を汚れたままになさる方ではありません。あなたのお名前のところから回復を始め、あなたの聖さによって私たちを覆い、罪人の頭を清い者と宣言してください。この不思議なみ業を成し遂げるために、十字架で血潮を流された命の水、主イエス様のお名前でお祈りします。 アーメン。